

地域に根ざした 女性部活動

女性部ニッ井支部冬期講座



女性部ニッ井支部による、恒例の冬期講座が2月14日にニッ井公民館で開催され、107名の女性部員が参加しました。講座では、『ふくろうのタペストリー』作りに挑戦。支部の役員などが事前に練習し、先生となって教えました。参加者は様々なフェルトを切り分けながら、ボンドを使ってふくろうの形作り、思い思いのふくろうに会場は大賑わいとなりました。



参加者が作成した、ふくろうのタペストリー（3羽）

また、この日は閉校式も行われ、計5回の冬期講座が無事に開催できたことを祝うとともに、すべての講座に参加した75名を表彰しました。部員たちは講座の終了を惜しみながら、足音が聞こえてきた春に向け、気持ちを新たにしていきました。



講座を振り返る工藤貞子支部長

いきいき教室



J A助け合い組織いきいき会と、桧山地区女性部は2月26日に、『ミニデイサービス『いきいき教室』を桧山の崇徳館で開催しました。

今回のミニデイサービスには、地域住民など28名が参加。はじめにいきいき会会長の由利弘子さんが、「より一層地域の絆を強め、心も体も健康に過ごしてほしい。」と挨拶しました。



楽しんで運動することの大切さを伝える、渡部邦子さん

レクリエーションとして、渡部邦子さんを講師に、手遊びや体幹を鍛える運動、歌・踊りなどを行いました。その後、昼食交流会やゲーム等を通じて、参加者が親睦を深めました。



タオルを使って皆で健康体操

